

# おめでとうございます



市長  
小畑 元

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、合併という歴史的な大事業を、多くの関係者のご理解とご協力により成し得ることが出来た年でした。改めて関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。

困難な時代を乗り切るための最大の対応策が合併であり、合併のメリットを生かすためにも、出来るだけ早く新市の一体感が必要であると考えています。合併後に比内、田代両地域を回り、懇談会を持たせていただいたところ、幸い、参加された皆さんからは、多くの賛同のご意見と今後の大館市に期待する声をいただき、ひとまず安心していただいております。

さて、今年は、「新大館市」のあり方を方向付ける、大きな改革の年と考えています。

その一つは、農業施策の改革です。これまで国は、すべての農家に対して農業政策を行ってきましたが、平成19年度からは、集落営農組

織などを対象にした政策に転換しようとしています。これは、戦後の農政を根本から見直すものです。合併により大館市は農業都市になりました。農家の方々には、積極的な情報の提供に努め、多くのご意見を伺い、今後の農業経営の安定化対策に全力を傾注します。

二つ目は、保健、医療、福祉の改革です。少子高齢化の急激な進行と、国の行革が進行する中、これまでの各種対策は、制度の見直しが急務です。介護保険料の改定、自立支援法の改正、デイサービスを主体とした包括支援センターの確立など、子供から高齢者までのトータルケアに向けた新たな対応が必要です。これまで以上に保健、医療、福祉の連携を強め、本市に即した制度の確立を目指します。

このほか、平成19年秋田国体に向けた施設の整備や、東バイパスの架橋工事なども順調に推移しており、市立総合病院のリニューアル工事も大きく進展します。

これまで進めてきた都市基盤の整備から、より人や地域に密着した行政を目指し、安心で安全な明るい市民生活の構築に全力を尽くします。今後とも皆さんのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

